令和８年度全国学力・学習状況調査結果を説明する資料

札幌市立柏丘中学校

【中学校国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 **▽「言葉の特徴や使い方に関する事項」** ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ▽「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 **▼「話すこと・聞くこと」** ・全国平均を下回っている。 **▽「書くこと」** ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 **△「読むこと」** ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●単語の活用について理解すること ●目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること ●表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと	○授業では、言葉のきまりを楽しく学ぶ「単語の活用」の授業改善に取り組みます。「書かない」「書こう」など、子どもたちが普段使っている言葉をヒントに、言葉がどう変化するかを考えます。暗記に頼るのではなく、言葉の仕組みを自然と体感できる授業を目指します。 ○話すこと・書くことの基礎となる「伝える内容を整理する力」を育てます。子どもたちは、目的に合わせて集めたメモや情報を、仲間と相談しながら「どれを、どんな順番で伝えるか」検討します。ただ発表するだけでなく、相手や場面に合わせた「伝わる工夫」を学ぶ活動を展開します。 ○多様な意見を認め合う「話し合いの力」を育みます。授業では、互いの立場や考えを尊重しながら、自分の意見と友達の意見を比べ合わせます。単に多数決で決めるのではなく、「お互いの良いところ」を組み合わせて新しい結論を導く活動を目指します。 ○互いの作品をブラッシュアップする「見直しの力」を育てます。自分が書いた文章の工夫や工夫した効果について、友達から助言をもらいます。客観的な視点を取り入れることで、自分の表現の良さに気づき、自ら文章をより良く改善していく力を養います。

【中学校数学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 **▽「数と式」** ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 **△「図形」** ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 **▽「関数」** ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 **▽「データの活用」** ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●統合的･発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる ●反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、ｘの値に対応するｙの値を求めることができるかどうかをみる ●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる	○既習事項を結びつけ、条件を変えて新たなきまりを見つけ、その特徴を文字式等を使って論理的に説明する力の育成に取り組んでいきます。授業では「説明の型」の指導や「もし～なら？」という問いかけを徹底し、「解いて終わり」にしない、一歩深い数学的な思考力と表現力を育てます。 ○反比例の表から特徴を正しく捉え、対応する値を正確に求める技能の育成に取り組んでいきます。授業では、表への矢印の書き込みやプリントを用いた視覚的な指導を徹底し、比例との混同を防ぎながら、基礎から確実に定着させる学習を進めていきます。 ○データの傾向を的確に捉え、度数分布多角形（グラフ）の特徴を基に判断の理由を説明する力の育成に取り組んでいきます。また、グラフの山や偏りに注目する視覚的な指導や、「根拠に基づく説明」を学ぶことで、単なる勘に頼らず、統計的なデータを用いて論理的に判断･表現できる力を育てていきます。

【中学校英語】

今回の調査における課題	改善の方向
●社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる ●音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる ●日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる ●日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるかどうかをみる ●音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる ●社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる	○時事ニュースなど社会的な話題を聞き、要点を捉える力を育んでいきます。具体的な活動として、初見の音声から「キーワード」をメモする練習や、5W1H を意識して概要を数行でまとめる活動、聞き取った内容についてペアで確認し合う活動をに行い、音声の核心を掴む力を高めていきます。 ○習得した音声や語彙、文法などの知識を「読むこと」で活用する力を育んでいきます。活動では、初見の英文からキーワードを素早く見つける練習や、文脈から全体の要旨を捉える練習を行っています。単なる暗記に留まらず、実際のコミュニケーションで使える対話的な読解力を高めていきます。 ○日常的な話題の英文から、自分の状況に合わせて必要な情報を読み取る力を育んでいきます。活動では、旅行の予定表や案内文、グラフなどを使い、「自分が知りたい情報」を素早く見つけ出す練習を重点的に行っています。社会で実際に役立つ、実践的な読解力を高めていきます。 ○日常的な話題の短い文章を読み、全体の概要を捉える力を育んでいきます。活動では、日記や身近なストーリーなどの英文を使い、細かな単語の訳にとらわれず、「結局何が書かれているか」を素早く大掴みする活動を重点的に行い、長文読解にもつながる大意把握力を高めていきます。 ○習得した語彙や文法などの知識を「書くこと」で活用する力を育んでいきます。活動では、単なる例文の暗記ではなく、自分の考えや事実を相手に伝える英作文練習を重点的に行っています。スペルや文法の正確さに加え、実際のコミュニケーションで伝わる実践的な発信力を高めていきます。 ○英語の授業では、ニュースなど社会的な話題を聞き、自分の考えとその理由を話す力を育んでいきます。活動では、音声を聞いて概要を理解した上で、「私はこう思う、なぜなら…」と自分の意見を即興で発話するペアワークなどを重点的に行っています。社会課題に対して自ら発信する表現力を高めていきます。

【生徒質問調査結果から】

全国平均との差が顕著である項目を取り上げています。教科に関する質問は、今回テストを実施した国語・数学・英語のみ回答されています。

△学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
△あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
△国語の勉強は得意ですか
△英語の勉強は得意ですか
△英語の勉強は好きですか
△英語の授業の内容はよく分かりますか
△将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか
△学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
△あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
△先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
△１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか
△１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか
△将来の夢や目標を持っていますか
△「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均に比べ上回っている。
△あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）
△地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
△あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか
△あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか
▼朝食を毎日食べていますか
▼学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
▼毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
▼１、２年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
▼１、２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか
▼土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
◎「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に「当てはまる」と答えた生徒の割合は、全国平均に比べほぼ同程度である。

＜課題と改善の方向＞

各教科の領域においては、別紙のように今年全国平均を上回っているのは、国語「読むこと」の領域と数学「図形」の領域と英語の「話すこと」の領域となっています。また、生徒質問調査結果より、今年度の３年生は、国語科・英語科に対して得意と考える生徒が多く、とくに英語科の勉強を好きだと答えている生徒の割合も多いです。ただ、他の領域では全国平均を下回っていることから、今後も各教科で指導方法の改善が必要であり、「分かる、できる、楽しい授業づくり」に努め、基礎基本の定着・学習習慣の確立や学習意識の向上に尽力していくことが必要であると考えています。また、学校以外での学習時間が少ない生徒の割合も高く、自分から取り組むことが苦手のようです。

生徒質問調査結果から考察すると、「いじめは許されないこと」ということは本校生徒にある程度浸透していると考えられます。また、困りごとを大人に相談することに抵抗が少ないようです。今後も普段の学級指導、道徳の授業などで柏丘中学校憲章の「生命を大切にする」「みな平等である」「人の心を尊重する」「自分らしさをのばす」を軸に指導を継続していき、教育相談などの充実を図っていきたいと考えています。

今後とも本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。